

横越小学校 図書館教育全体計画

児童の実態

- ・本を借りることを楽しみにしている。
- ・一人の時間をもてあましている子が図書館で過ごしている。
- ・調べ物など積極的に活用している子もいる。
- ・安らぎの場
- ・司書と雑談や相談をする場

教育目標

学ぼう 支え合おう やりぬこう

重点目標

関わり合う子ども

図書館教育の指導の重点

進んで読書をし、図書に親しみ、
学習の中で資料を活用する。

資料活用の実態

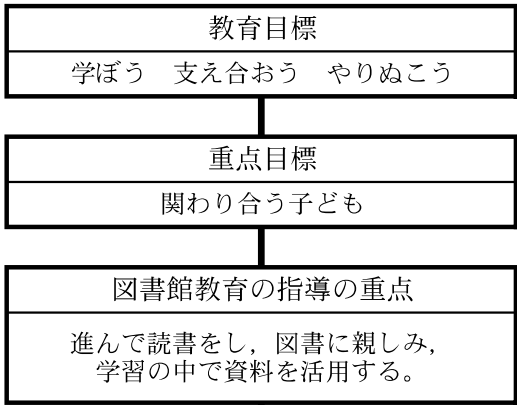
- ・「学習センター」「情報センター」としての認知が低い。
- ・図書資料を活用した授業がどうしても国語に偏る。
- ・使った資料の記録を取る習慣がない。

低学年	中学年	高学年	
<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく本に触れる。 ・適切な本を選んで調べ物をすることができる。 <p>【1年】 自分の知りたい情報を資料から抜き出せる。</p> <p>【2年】 図鑑の使い方を身に付ける。 図書の分類を理解する。 使った資料の記録を取れる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな本に出会い、面白さを受けとめ、味わう。 ・物語の内容を要約して伝えることができる。 ・自分に必要な資料を選び、情報を抜き出して、整理できる。 <p>【3年】 情報カードに書誌情報と分かったことを要約して書き出し、整理できる。</p> <p>【4年】 パンフレットや地図、統計資料など多様な資料から情報を読み取り、調べ物ができる。 出典を明らかにして引用できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな本に出会い、表現を味わって読みながら、面白さを受け止めることができる。 ・自分に必要な資料を選び、情報を抜き出し要約して、整理できる。 ・インターネットを使って資料や情報を適切に検索できる。 <p>【5年】 百科事典・新聞雑誌・年鑑統計・年表や地図など資料の特性を理解し、活用できる。 適切な引用で発表資料が作れる。</p> <p>【6年】 調べたことをまとめ、事実と考えの区別を付けた引用を意識して、報告書が書ける。 参考文献一覧が作れる。</p>	
<h3>特別支援教育</h3>			
<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな本に出会い、読書の楽しみを知る。 ・図書資料から生活の様々な場面で必要な知識や技能を得て、実践する。 また、自分が必要とする知識や技能を得られる資料を、自ら見つけることができる。 			
各教科・総合	道徳	特別活動	その他の活動
<ul style="list-style-type: none"> ・読書への興味・関心を持たせ、望ましい読書習慣を身に付ける。 ・学年に応じて本の要旨を捉えながら楽しんで読む能力を養う。 ・各教科、単元の学習に必要な資料の活用を図る。 ・自分の考えを広げたり、深めたりするために必要な資料を選択するための知識・技能を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書を通して、人間の様々な在り方や生き方を考える。 ・資料活用を通して、自分と違う立場や考え、価値観を理解し、尊重できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書週間を中心とした行事活動を通して、学校図書館に親しみを持ってもらい、利用を促進する。 ・図書委員会の活動を通して、学校図書館への理解を深める。 ・様々な校内行事に学校図書館の資料を生かせるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全校朝読書 ・図書館の利用指導 ・司書による読み聞かせ、ブックトーク ・読み聞かせボランティア主催の外部講師によるおはなし会
<h3>家庭・地域との連携</h3>			
<ul style="list-style-type: none"> ・図書館だよりの発行、学校ホームページを利用した学校図書館からの情報発信、読書習慣の推進 ・学校図書館支援センターとの連携 ○ 横越中学校と連携した読書週間・家庭読書の実施、読書量・資料活用技能の引き継ぎ ○ 読み聞かせボランティアによる朝の読み聞かせ ○ 地域ボランティア、保護者ボランティアとの協働による館内環境整備 			

横越小学校 図書館教育計画【解説】

児童の実態

- ・本を借りることを楽しみにしている。
- ・一人の時間をもてあましている子が図書館で過ごしている。
- ・調べ物など積極的に活用している子もいる。
- ・安らぎの場
- ・司書と雑談や相談をする場



資料活用の実態

- ・「学習センター」「情報センター」としての認知が低い。
- ・図書資料を活用した授業がどうしても国語に偏る。
- ・使った資料の記録を取る習慣がない。

意識する教科・単元：

3年「横越のお宝発見」
「昔のくらし」

4年「阿賀野川物語」
「暮らしの中の和と洋」

低学年	中学年	高学年
<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく本に触れる。 ・適切な本を選んで調べ物ができる。 <p>【1年】 自分の知りたい情報を資料から抜き出せる。</p> <p>【2年】 図鑑の使い方を身に付ける。 図書の分類を理解する。 使った資料の記録を取れる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな本に出会い、面白さを受けとめ、味わう。 ・物語の内容を要約して伝えることができる。 ・自分に必要な資料を選び、情報を抜き出して、整理できる。 <p>【3年】 情報カードに書誌情報と分かったことを要約して書き出し、整理できる。</p> <p>【4年】 パンフレットや地図、統計資料など多様な資料から情報を読み取り、調べ物ができる。 出典を明らかにして引用できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな本に出会い、表現を味わって読みながら、面白さを受け止めることができる。 ・自分に必要な資料を選び、情報を抜き出し要約して、整理できる。 ・インターネットを使って資料や情報を適切に検索できる。 <p>【5年】 百科事典・新聞雑誌・年鑑統計年表や地図など資料の特性を理解し、活用できる。 適切な引用で発表資料が作れる。</p> <p>【6年】 調べたことをまとめ、事実と考の区別を付けた引用を意識して、報告書が書ける。 参考文献一覧が作れる。</p>

意識する教科・単元：

1年「はたらくふね」
2年「ビーバーの大工事」

意識する教科・単元：

5年「米づくり」「公害」
「和の文化」「古典」

6年「社会科日本の歴史」
「卒業文集作成」

特別支援教育

- ・図書館を安心できる居場所のひとつとし、いろいろな本に出会い、読書の楽しみを知る。
- ・図書資料から生活の様々な場面で必要な知識や技能を得て、実践する。
- また、自分が必要とする知識や技能を得られる資料を、自ら見つけることができる。

下線部は各学年で「情報カード」を活用できる部分。
資料から持ってきたデータや他者の考えを、自分の考えと区別するために、「参考文献」「出典」という概念の定着が必要。

各教科・総合	道徳	特別活動	その他の活動
<ul style="list-style-type: none"> ・読書への興味・関心を持たせ、望ましい読書習慣を身に付ける。 ・学年に応じて本の要旨を捉えながら楽しんで読む能力を養う。 ・各教科、単元の学習に必要な資料の活用を図る。 ・自分の考えを広げたり、深めたりするために必要な資料を選択するための知識・技能を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書を通して、人間の様々な在り方や生き方を考える。 ・資料活用を通して、自分と違う立場や考え、価値観を理解し、尊重できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書週間を中心とした行事活動を通して、学校図書館に親しみを持ってもらい、利用を促進する。 ・図書委員会の活動を通して、学校図書館への理解を深める。 ・様々な校内行事に学校図書館の資料を生かせるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全校朝読書 ・図書館の利用指導 ・司書による読み聞かせ、ブックトーク ・読み聞かせボランティア主催の外部講師によるおはなし会

家庭・地域との連携

- ・図書館だよりの発行、学校ホームページを利用した学校図書館からの情報発信、読書習慣の推進
- ・学校図書館支援センターとの連携
- 横越中学校と連携した読書週間・家庭読書の実施、読書量・資料活用技能の引き継ぎ
- 読み聞かせボランティアによる朝の読み聞かせ
- 地域ボランティア、保護者ボランティアとの協働による館内環境整備